

運転への影響知ってる？

れます。

普段飲んでいるお薬がある方は、運転に対する影響についてご存じでしょうか？

眠気や注意力の散漫、目まいなどが出やすいものがあり、車の運転には向かない物や運転禁止の物も多くあります。

▼アルコール成分を含む薬▼風邪薬▼睡眠薬▼抗アレルギー薬▼慢性的の痛みを和らげる薬▼抗不安薬▼抗うつ薬▼パーキンソン病の治療に用いられる薬——など、これらは、処方薬、市販薬のいずれも副作用に特に注意しなくてはなりません。

一般的に年齢とともに

に、かかる病気が多くなり、飲むお薬が増える傾向にあります。若い頃から車を運転し技術に自信がある方も、記憶力や判断力が変わってきます。

もしれません。

お薬の影響や病気の症状であっても「運転に支障がある」と判断された状態で事故を起こした場合、危険運転致死傷罪が適用され、通常より厳しい罰則になるケースもあります。

医師や薬剤師にご自身のお薬が「車の運転をしても影響はないか？」その適否をしっかりとご確認いただいて、安全運転を心掛けてください。

心地よい薫る風を感じて、皆さまが気持ちよくお出掛けできますように。(薬剤師 西 美香)

薬師 西もやま

[90]

松阪地区薬剤師会

「八十八夜の別れ霜」立春から88日目の頃に降りる霜は、それが最後となることが多いといわれる」の言葉通り、過ごしやすい季節となりましてが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けも変わり、久しぶりに車でお出掛けされる方も見ら

